

RSNPを用いた英単語学習支援ロボットの開発 サービス概要

ジメネス フェリックス (中京大学大学院)

加納 政芳 (中京大学)

開発の背景

ロボットと学習者が一緒に英単語を学習することで

□ メリット

- 学習者に動機づけを与える(神田ら,2004)
- コンピュータによる学習よりも英語を効果的に学習できる(J. Hanら,2008)

□ デメリット

- 教員が学習内容の指示するには困難であることや学習者は自身ができる学習項目ばかりを学習することから、学習が遅延する(Changら,2010)



© Tinytoy



学習

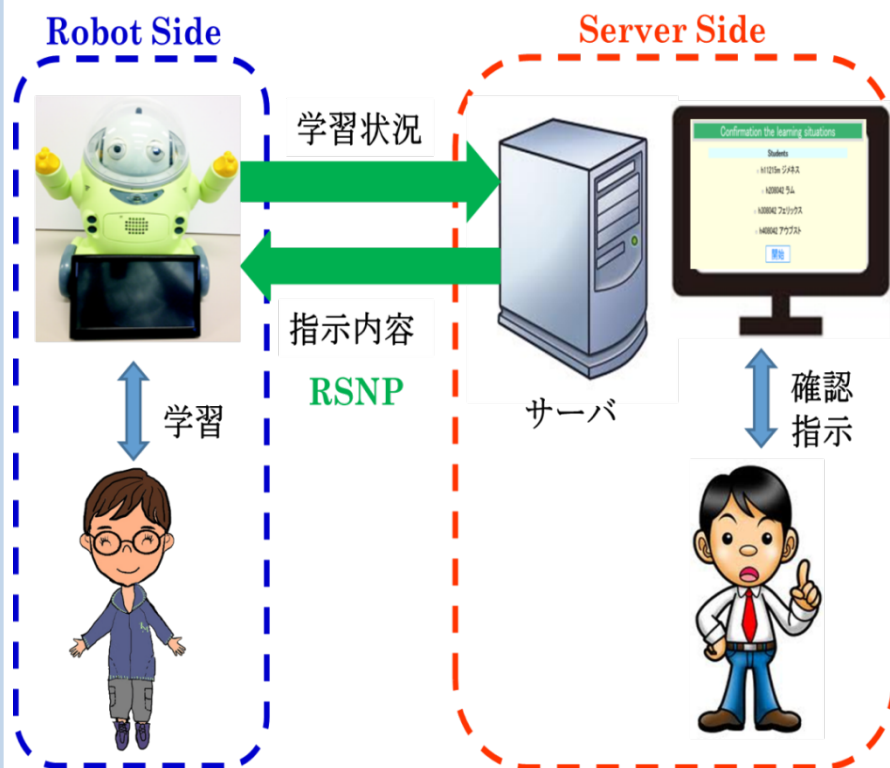


解決策として

教員がロボットと学習者の間に
うまく関与できる環境が必要である



システム概要



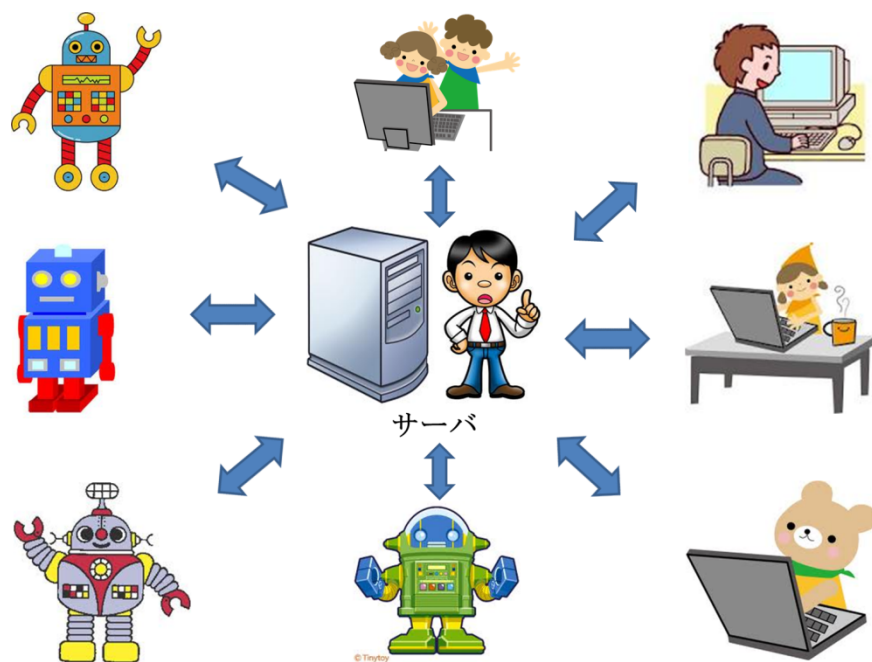
Robot Side (学習者)

- 学習者とロボットと一緒に学習する
- 学習が始まる前に、RSNPを用いて、サーバから指示内容を受信する
- 学習が終わると、RSNPを用いて、学習結果をサーバに送信する

Server Side (教員)

- 指定されたURLに接続して、学習者の学習状況を確認する
- 学習状況を確認しつつ、学習項目を指示する

システムの特徴



- 多様なロボットに限らず、パソコンによる学習も、時間や場所に制限されずに、管理できる。

- 教員が学習内容の指示を効率良く指示ができ、学習者の学習効果の向上が促せる。